

製品名: ヒストン H2B (クロトニル K12) ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe84162

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.39mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200
分子量	14 kDa

抗原情報

遺伝子名	Histone H2B(crotonylK12)
別名	Histone H2B type 1-H; Histone H2B;j; H2B/j; HIST1H2BH; H2BFJ;;Crotonyl-Histone H2B type 2E (K12)
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q16778
免疫原	K12 のクロトン化部位周辺のヒトヒストン H2B タイプ 2E 由来の合成ペプチド

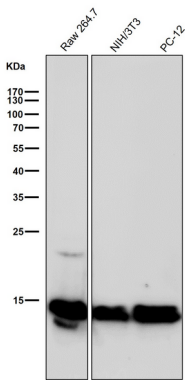
背景

ヌクレオソームの中核構成要素。ヌクレオソームはDNAをクロマチンに包み込み、DNAを鋳型として利用する細胞機構へのDNAのアクセスを制限します。そのため、ヒストンは転写制御、DNA修復、DNA複製、そして染色体の安定性において中心的な役割を果たします。DNAへのアクセスは、ヒストンの複雑な翻訳後修飾（ヒストンコードとも呼ばれます）とヌクレオソームリモデリングによって制御されています。

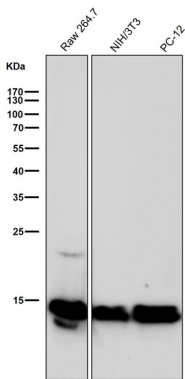
研究分野

-

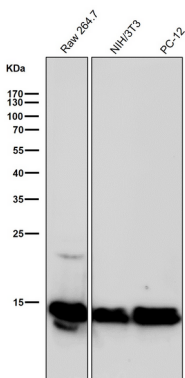
画像データ



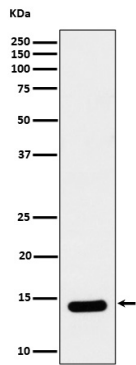
すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。



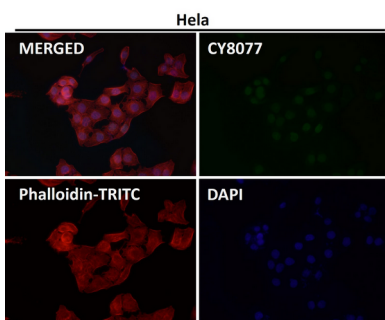
すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。



HeLa 細胞溶解物中のヒストン H2B (クロトニル K12) 発現のウェスタン ブロット分析。



1:50 希釈の抗体を使用した免疫蛍光分析。